

TAKEHISA YUMEJI MUSEUM

夢二が見つめた1920年代

震災からモダンガールの表現まで



2023.7.1 Sat >> 9.24 Sun

大正から昭和へ元号が変わる1920年代は、日本の近代化が急速に進みました。

竹久夢二(1884-1934)は、独特の夢二式美人画で大衆を魅了する一方、過渡期にあった時代と社会を鋭く見つめ、創作活動に反映しました。

2 本展では、1923年に発生し自身も被災者となった、関東大震災にまつわるスケッチとエッセイをはじめ、1924年創刊の雑誌『婦人グラフ』で描き表したモダンガールを中心に紹介、さらに商業デザインにみるアールデコの表現にも注目し、1920年代に夢二が手掛けた作品を幅広く展示します。

3 あわせて当時40代だった夢二の恋愛模様やライフスタイルを、約100年前の文化とともに振り返ります。



担当学芸員による
ギャラリートーク
2023年
7月15日(日)
8月19日(日)
9月16日(日)
いずれも14時～
要入館料

竹久夢二美術館

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2
Tel. 03(5689)0462
<https://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

開館時間 午前10時～午後5時(入館午後4時半迄)

休館日 月曜日

7月17日、9月18日(月・祝)は開館し、7月18日、9月19日(火)休館

入館料 一般1000円/大・高生900円/中・小生500円 弥生美術館も併せてご覧いただけます

- ① 化粧の秋(『婦人グラフ』表紙) 1924年
- ② 人形と娘(『少女の友』口絵) 1923年
- ③ 『fruit』6月号 表紙図案 1929年
- ④ 『キネマ』9月号 表紙 1924年